

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2019年度 パフォーマンス向上会議情報(2020年2月20日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2020年2月20日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【6号機非常用ディーゼル発電機(A)駆動用ディーゼルエンジンのシリンダ注油器蓋取付用ボルト孔の摩耗について】 6号機非常用ディーゼル発電設備(A)点検において、駆動用ディーゼルエンジンのシリンダ注油器6台のうち、2台の注油器蓋取付用ボルト孔に各1箇所を摩耗を確認。 原因は、年次点検等の繰り返し手入れによる摩耗と推定。 当該箇所を修理予定。</p>	GⅢ	2月13日
2	<p>【凍土遮水壁設備の制御盤用クーラー冷媒の構外処理について】 所内マニュアルでは、構内で使用したフロンガスは構内保管と決められているが、凍土遮水壁設備で使用していた制御盤用クーラーの冷媒(フロンガス)が構外で処理されていたことが判明。 構外で処理されたフロンガスについては、環境省の法令に基づき処理されており、処理方法については問題なし。 また当該フロンガスについては、下記2点より搬出基準を充たしていた。 ①クーラー本体について、構外搬出時にサーベイを行い、問題のないことを確認。 ②フロンガスは密閉容器に封入されており、構内での封入は行っていない。 なお、フロンガスの処理を完了したクーラー本体については、構内に再搬入し廃棄物処理を行っている。 今後、構外処理に至った原因調査と対策を検討。</p>	GⅢ	2月18日